

# 県勢初 2校堂々

球春到来を告げる第88回選抜高校野球大会が20日、兵庫県西宮市の阪神甲子園

球場で開幕した。今大会では、県勢としては初めて2校が出場。八学光星と青森

山田の選手たちは開会式の晴れの舞台で堂々と行進した。都道府県名の「青森」が

2度読み上げられ、4万2千人の観衆から盛大な拍手を受けた。【関連記事11面】  
青森の下、入場行進曲の西野力ナの「もしも運命の人がいるのなら」に合わせ、昨年優勝校の敦賀気比(福井)を先頭に、北から南の

順に入場。八学光星は時折笑顔を見せながら、そろった足並みで1周。続く、青森山田ナインはやや緊張した表情ながらも、堂々と胸を張り、歩を進めた。

選抜大会では2度目の入場行進となった八学光星の奥村幸太主将は「去年は観客の多さに圧倒されたが、今年は心に余裕があり楽しめた」とこりこり。ぶっつけ本番で行進に臨んだという青森山田の内山昂思主将は「テレビで見ただけだった夢の舞台。観客がすごく多くて感動したし、ここでプレッシャーの幸せを感じた」と興奮冷めやらぬ様子で振り返った。

開会式終了後、3試合が行われ、頂点を目指す戦いが始まった。県勢の初戦は、八学光星が第2日の第3試合(21日午後2時開始予定)で開星(島根)と、青森山田は第6日の第1試合(25日午前9時開始予定)で敦賀気比(福井)と戦う。

(兼平昌寛、本田海輝)

県勢初の2校出場となった選抜高校野球。八学光星(写真上)と青森山田(同下)は堂々と行進した。甲子園

## 光星 山田高 センバツ開幕 聖地に2度「青森」